

# 平和運動フォーラム石狩地域協議会

平和運動フォーラム  
石狩地域協議会

〒060-0806  
札幌市北区北6西7  
村上 真仁

TEL: 011-747-1880

もてこまひかない。県外への移転が増えている。」との

路氏より「除染しても放射線量がさがらない。大地が

つまた、道庁フォーラム相澤氏が地元

あいさつを行い、

続いて福島からの

連帯あいさつで中



「すべての原発をなくそう!」  
デモ行進に出発する参加者

行委員会より「原子力政策や米軍基地などに

対し、『生命の尊厳』

を重視し、地方が主体

となった政治に変わっ

ていかなければならな

い」との基調提案がさ

れた。引き続き開催

されたシンポジウムで

は、『震災から考える、人間の安全保障』で

「生命の尊厳」を

テーマに、震災、原発

被災をめぐる情勢や

「国策」のもとで犠牲

を強いられている沖縄

問題について、パネリ

ストが討議を行った。

最終日には、被災地

からの訴えをはじめと

した特別提起のあと平

和フォーラム事務局長

結集軸に!」とあいさ

つまた、道庁フォー

ラム相澤氏が地元

あいさつを行い、

続いて福島からの

連帯あいさつで中

路氏より「除染し

ても放射線量がさが

らない。大地が

もてこまひかない。

県外への移転が増

えている。」との

「自然エネルギーに転

換しよう!」と対岸に

向けて声をあげた。

「大間原発はいらない!

」

はじめに、北海道平

和運動フォーラム山田

代表が「フルMOXな

ど、事故が暴走したと

きに止める事もできな

い。原発をやめること

に、何ら躊躇もないと

いう声をさらに大きな

参加した。

平和フォー

ラム江橋代表

の主権者あい

さつの後、実

行委員会より「原子力

政策や米軍基地などに

対し、『生命の尊厳』

を重視し、地方が主体

となった政治に変わっ

ていかなければならな

い」との基調提案がさ

れた。引き続き開催

されたシンポジウムで

は、『震災から考える、人間の安全保障』で

「生命の尊厳」を

テーマに、震災、原発

被災をめぐる情勢や

「国策」のもとで犠牲

を強いられている沖縄

問題について、パネリ

ストが討議を行った。

最終日には、被災地

からの訴えをはじめと

した特別提起のあと平

和フォーラム事務局長

名が参加した。

はじめに、北海道平

和運動フォーラム山田

代表が「フルMOXな

ど、事故が暴走したと

きに止める事もできな

い。原発をやめること

に、何ら躊躇もないと

いう声をさらに大きな

参加した。

平和フォー

ラム江橋代表

の主権者あい

さつの後、実

行委員会より「原子力

政策や米軍基地などに

対し、『生命の尊厳』

を重視し、地方が主体

となった政治に変わっ

ていかなければならな

い」との基調提案がさ

れた。引き続き開催

されたシンポジウムで

は、『震災から考える、人間の安全保障』で

「生命の尊厳」を

テーマに、震災、原発

被災をめぐる情勢や

「国策」のもとで犠牲

を強いられている沖縄

問題について、パネリ

ストが討議を行った。

最終日には、被災地

からの訴えをはじめと

した特別提起のあと平

和フォーラム事務局長

## やめるべ大間原発! 10.29 全道集会

さような

報告があった。取り組

み報告では、大間訴訟

の会の竹田氏が「大間

原発の特殊性を多くの

人に知ってほしい。こ

の訴訟に関心を寄せて

ほしい。」と訴えた。

最後に、「福島原発

事故で日本の原発の安

全神話は崩れた、私た

ちの命と暮らしを守る

ため再生可能な自然エ

ネルギーへの転換を!」

と集会アピールが採択

され、その後、参加者

はデモ行進を行い、

**大間原発は直ちに建設中止を!**

危険度がきわめて高い

フルMOX燃料を使用



函館にも甚大な被害が想定される大間原発

青森県大間町に建設中

(東日本大震災の影響

で工事中断)の大間原

発は、MOX燃料を全

炉心で使用する商業用

では世界ではじめて

のフルMOXによる

運転が予定されてい

る。これは通常の原

発よりも炉心内の原

出力が偏るなど、危

険な要素が新たに加

わることとなる。大間

原発は、函館市戸井地

区まではわずか23<sup>キ</sup>、

函館市中心部までは30

<sup>キ</sup>圏内に位置している。

### 『生命の尊厳』を重視し、 地方が主体となった政治を



被災地福島県からの報告  
=最終日、特別提起にて

### 第48回 護憲大会

さようなら原発  
1000人アクション  
脱原発・持続可能で平和な社会をめざして

## 石狩地域協議会 第12回定期総会

と き : 2011年12月2日(金) 18:00 ~

と ころ : 江別市民会館37号室

参加報告 : 締め切り 11月25日(金)

までに石狩地域協議会事務局へ

○事務局だより○

護憲大会で、福島・

宮城・沖縄と3名の

方からそれぞれ報告

がありました。この

中で、震災があった

ことにより被災地

は皆が被害を知り、

心配しましたが、沖

縄はずっと、どこか

「ひとこと」にされ

続けていたと改めて

感じました。(む)

藤本氏が大会のまとめ

を行い、各分科会での

議論を参加者が共有し

て大会を締めくくった。

2日目は

それぞれ7

つの分科会

に分かれて討論を行っ

たほか、「日本国憲

法から見た東日本大

震災」というテー

マで宮城・福島を訪問

するフィールドワー

クも行われ、特に訪

問先の福島県飯館村

では現在も高い放射

線量が観測されている

など、苦しい状況下で

も、様々な課題に前向

きに取り組み現地の人々

の姿があった。

最終日には、被災地

からの訴えをはじめと

した特別提起のあと平

和フォーラム事務局長